2024 年 6 月 18 日

学校法人三幸学園
神戸元町医療秘書専門学校
校長　門脇　千里　殿

学校関係者評価委員会
委員長　山科　しおり

学校関係者評価委員会実施報告

2023 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1　学校関係者評価委員
　①　山科　しおり　（飛鳥未来きずな高等学校　神戸キャンパス　教頭）
　②　村上　尚子　（社会医療法人愛仁会　明石医療センター　事務部副部長）
　③　越田　拓也　（医療法人豊繁会　近藤病院　事務局長）
　④　伊東　百咲　（第 5 期卒業生）

2　学校関係者評価委員会の開催状況
　2024 年 6 月 18 日（会場　神戸元町医療秘書専門学校　504 教室）

3　学校関係者委員会報告
　以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2023年度　学校法人　三幸学園　神戸元町医療秘書専門学校
自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者　：　副校長　松本　悠
学校関係者評価報告責任者　：　学校関係者評価委員会委員長　山科　しおり

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療・福祉・保育現場を通じて、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。
また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り
教務スローガン：67人68脚

教務_退学率目標：7%未満、結果：10.9%

広報_募集目標：90名、結果：63名

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

学校としての教育目標や学科ごとの目指す人材育成像の設定はできているが、具体的な評価と体現に繋げられていない。

② 今後の改善方策

定期的な評価実施と評価から抽出される課題を計画的に取り組み、目指す人材育成像に一層近づけられる教育を行っていく。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

方針などの浸透の仕方について、院内では全職員に浸透できるよう月1回全職員で朝礼を実施している。その際に情報共有、また、各部署の長を中心に職員の共通認識を図っている。(越田委員)

職員数が 1000 人越えており様々なことの統一が難しいが、合同会議(管理職のみ)などを利用して月ごとのフィードバックなどを実施する中で統一を図っている。院長の想いを課長クラスにいかにズレやブレが無いように伝え、職員全体への浸透を図っている。(村上委員)

働いている病院では、朝礼にて院長から大切なことが共有される。先輩からも上司の意向を伝えていただく機会がある。(伊東委員)

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務･財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

業務の効率化を図ってはいるがより効果的な情報システム化が必要である。

② 今後の改善方策

授業支援ツール(ICT 機器含む)の導入、実習手帳簿のデジタル化を検討し、授業準備や授業実施における効率化も図る。

③ 特記事項

特になし

④学校関係者評価委員会コメント

効率化の一つとして、LINEworks のツールを使用し始めた。部署が多くあるため、伝わりづらさやずれを解消するために導入。電子カルテが未導入であるため、今後電子カルテ導入も検討して効率化を図っていく方針。しかし、新しいシステムは年齢層が高い職員は抵抗感がどうしても生じてしまい、開始時に苦労する面があることも否めないが、それを考慮してしまうといつまでも変えられないので、思い切って変えていくことを念頭に置いている。（越田委員）

Teams を活用した運営を行っている。一部職員には院内電話機として iPhone を導入し、情報共有の効率化を図っている。また、今年度から RPA のライセンスを購入。単に作業が簡単になる便利なツールとならないよう、導入プロセスを職員に理解させた上で活用できるよう、職員には理解を求めている。（村上委員）

(3)教育活動

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施･評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

業界との連携は引き続き強化していく必要がある。

指導力育成など資質向上のための研修は実施できているが、関連分野の先進的な知識・技術を修得するための研修は十分ではない。

② 今後の改善方策

実習や行事だけではなく授業においても関連分野の業界と連携できるよう計画を進める。

関連分野の先進的な知識・技術を修得するための研修の計画を進める。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

外部研修の導入に関しては、医師事務は 32 時間基礎研修や診療報酬改定の研修をおこなっている。外部に行くことで刺激もあり積極的に推奨している。(越田委員)

医療機関限定の研修は一般の方は、なかなか参加は難しいのが現状。医療秘書学会などでの発表などでの参加が学生にとってはいいのではないだろうか。（村上委員）

入社後の研修について、クラークの研修で法人内の他の病院へ行くことをしている。自分自身がまだ入社 3 年目のため出来ることは少ないが、特にコミュニケーションに力を注いで患者対応をしている。良かれと思う患者への声がけが、不快に感じさせることもあるため、言葉や接し方は研修以外の日々の勤務でも、先輩から多く学ぶようにしている。（伊東委員）

(4)学修成果

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

退学率の低減を図る必要がある。

卒業生の状況を把握しきれていない。

② 今後の改善方策

複数担任制の促進と効果的運用を行うとともに、スクールカウンセラーを効果的に活用していく。

卒業生とのネットワークの構築のために、卒業生が就職してお世話になっている医療機関への訪問を積極的に行っていく。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

生徒ケアについて、退学の意思を確定して学校へ申し出るケースが多くなっていることから、問題の芽の段階で生徒が教員へ相談できるよう、小まめな面談の設定や、保護者やカウンセラーとの連携を強化している。(山科委員)

自分自身は退学を考えたことは無いが、友人の中にはいた。専門学校生活で友人との関係性はとても良く、先生に悩みを言えない子も友人同士で退学を防ぐなどサポートが出来た。(伊東委員)

(5)学生支援

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

クラス担任制で担任が主に生徒状況の把握を行っているが、生徒の多様化に対応し切れていないケースが多くなり、適切な相談対応が十分ではない。

卒業生への支援体制は一部構築しているが、十分に活用できていない。

中途退学者への支援を十分に行うことはできていない。

② 今後の改善方策

スクールカウンセラーの運用体制見直し(機会の拡張)と、連携の強化を図る。

卒業生支援体制の活性化を図る。

中途退学者へも再入学の可能性の説明などを行っていく。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

病院側として学校教職員の訪問は大変ありがたく職員のケアに役立っている。(越田委員)

同窓会などの卒業校のイベントに対し、休みの申請しづらさはないが、仕事が抜けづらい曜日があるので曜日次第なことが多い。卒業生として入社してから先生に来て欲しいと思ったタイミングは入社すぐ 4 月や 5 月頃。しかしながら定期的に会えることもとても嬉しい。(伊東委員)

卒業生への情報提供としては、同窓会の日程は伝えていただいても問題はない。本人が行きたいか行きたくないがあるかと思うが日程次第で参加は可能ではないだろうか。先生方が訪問にくるのは特に抵抗はない。(村上委員)

（6）教育環境

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	2

① 課題

ハザードマップを使った説明で終わっている。

② 今後の改善方策

避難訓練の実施

③ 特記事項

緊急地震速報が発令された際の行動案内ポスターを掲示している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

年 2 回の訓練を実施。患者様対応は並行し実施している。（越田委員）

防災訓練は 4 月に明石消防協力のもと、新人研修実施。年1で大規模の訓練を実施。実際の現場を想定し実施している。（村上委員）

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

継続的、安定的な入学者の確保。

入学前後のギャップの解消。

② 今後の改善方策

教育活動と連動した広報活動を行うことで、学校のブランド力を強化していく。

高等学校の職業教育と連携した広報活動を行っていく。

③ 特記事項

兵庫県専修学校各種学校連合会に加盟し、同会で定められた生徒募集ルールに則り取り組んでいる。

④ 学校関係者評価委員会コメント

トライアルウィークの受け入れは看護部中心である。事務部の受け入れはしていない。(越田委員)

トライアルウィークの受け入れにおいて、看護部の負担が多いこともあり、近年は事務の作業体験も入れている。大人の学びなおしで医療事務の仕事が選ばれることが多いことから、一定のニーズがあるのではないか。(村上委員)

高校生の進路活動状況は生徒それぞれではあるが、進路ガイダンスが例年6月頃に終了しており、それを機に活動が活発化する。何もやりたいことが無い学生にとっては、休みや安定のイメージがある事で医療事務に興味を持つ子もいる。医療事務に興味を持つ保護者が増えてきている。(山科委員)

(8)財務

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

個人情報の保護に努めてはいるが徹底という意味では十分ではない。

② 今後の改善方策

個人情報に対するパスワードの設定や郵送物への記録などを強化していく。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

情報の取り扱いにおいて、新入社員の若いスタッフが院内廊下等で個人情報を何気なく話してしまうことがある。新人は私語をしてよい適切な場所などが理解できていないこともある。(村上委員)

在籍者ではない内定通知が学校に届くことがある。名前が似た企業などに郵送する際などは気をつけている。(山科委員)

(10)社会貢献･地域貢献

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献･地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座･教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

地域貢献活動ができていない。

外部と関わるボランティアの機会を十分に提供できていない。

② 今後の改善方策

地域支援･産学連携の活動を、現場実習･卒業生が就業先としてお世話になっている医療機関と共に計画･実施していく。

ボランティア情報を集める仕組みを構築する。

③ 特記事項

教育訓練として、医療事務員の委託訓練生を受け入れ、初の卒業生実績 1 名。訓練生の年齢による就職活動の難しさがあり、今後の対策検討が必要。

④ 学校関係者評価委員会コメント

地域イベントとして、コロナ以前はピアノ演奏会や盆踊りを病棟で実施していた。現在は、以前のようにはまだ実施が出来ない状況であるが徐々に機会を増やそうと考えている。(越田委員)

地域イベントについて、市民公開講座を実施している。テーマを決めて月に1回実施している。また、同法人では千船病院が街づくりに参加している。町のスタンプラリーでリハビリイベントをしている。(村上委員)

学生時代ボランティアなどがあれば参加してみたかった(コロナ禍の在学期間だったため、ボランティアの機会がほとんどなかった)。地域の方々に対して同じ校舎のこども専門学校のようにお祭りや文化祭みたいなものを実施してみたかった。(伊東委員)

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

専門学校卒に対する現場の評価や採用評価基準はそれぞれであるが、専門学校卒に対しての期待は大きい。特に知識においては専門学校で学んだ力が即戦力となっている。今後、コミュニケーションスキルも兼ね備えたバランスのいい生徒育成が必要である。

また、卒業生が増えていく上で、卒業生をフォローしていく機会や、情報を共有できる環境を大切にして欲しい。学校と病院が連携をとることによって長く勤務を続けられる卒業生を増やしていきたい。

今後は、地域の方との関係性をより深いものにしていく環境作りや、病院様との連携をはかれる機会を増やしていけることを期待している。